

通信

北米通信 (第一回)

紐育を中心として見たる米國醫學教育概観

紐育市にて 木 畑 生

拜啓、酷暑の砌益々御清適奉大賀候。陳ば從來我國醫界の専ら獨逸醫學に心酔して殆ど一顧の價値なきものとして寧ろ冷評視せる米國醫學に對し世界大戰の影響を受けて獨逸醫學輸入の途絶えて以來漸く注意を拂ふに至りて、其の進歩の見るべきものあり、我國醫學を凌駕せるのみならず駸々として隆盛に赴けるところ却つて將に獨逸を一蹴して世界醫學の中心たらんとするの兆あるものゝ如く見做し、近來我國青年醫家諸君の北米留學熱頓に熾ならんとするの傾向あるは、日米醫界親善の爲め慶賀に堪へざる次第に御座候。

然れども米國醫學教育の真相に至りては未だ我國に知られざるもの多く、従つて何等根據なき想像に基ける誤れる見解を持ち居らるゝもの尠からざる様存せられ候は遺憾に候。

小生北米留學の目的を以て昨年末横濱出帆直路紐育に入り、爾來當地に假寓して勉學消光罷在候。未だ日淺く何等纏りたる材料も無之候へ共、唯、今日迄に見聞調査せる所の一端を御報告申上げ後遊諸賢の御参考に供し度と存候。

我國醫學専門學校出身者にして當東部米國地方に留學せられたるものは極めて稀にして、就中我岡山醫專出身者

は先年廣瀨助教授のバルチモア Johns Hopkins, Baltimore に學ばれたる外、少くも紐育には小生を以て嚆矢たる事と存候。従つて小生來紐後勉學の方針を決定するに何分先例なき事にて之に倣ふ事能はざるのみならず、在紐同業先輩に參りても、皆初めより米國仕込にて一向要領を得ず、我領事館亦同様、加ふるに米國當局側に於ては殆ど我國醫學の如何なるものなるかを理解し居らざる状態にて、決論に到達する迄に多大の時日を費し、非常の困難を感じ申候。

小生渡米の目的は(一)主として從來專攻せる耳鼻咽喉科領域の研鑽を爲すと同時に能ふ限り米國一般醫學を見學して其の真相に觸れ度き事、(二)並に此の滯米期間に能ふべくんば米國に於ける醫師たるの全權利(開業權)を獲得し置かん事に候。而して今回の小生の在外豫定は約三年にして其の三分の二を米國に、三分の一を佛獨に費し度き希望に候へ共、或は數年後再び渡米し將來固定の地を此の北米の天地に求めんかとの底意も無きにしもあらず候へば、旁々此の第二の目的をも達せん事を希望する次第に候。

第一の目的に向つては小生は専門大家の門に入り研究を續くる傍ら米國一般醫學を觀察する事の最良の捷徑たる事を知り申候。されど之は從來の獨逸に採用し得られし最良の方法にして之を未だ日本の(外國の)留學生を迎へたる經驗なく、従つて之に對し何等特別の準備、設備なき所謂膳立なき米國に適用し得べきや否や疑なき能はず候。事實小生は日本出發前此の方面に關する材料は不幸にして殆ど得る事能はず候ひき。先に恩師田中教授の「エール」及「ポストン」大學に學ばれたるもの及東大醫科教授岡田博士の各地を視察せられたるものありと雖有力なる肯定材料たる能はず候ひき。茲に於て小生は獨逸の例に慣れたる眼より見れば迂遠の道なりとの誹を免れずと雖未開の域に踏入り自ら道を索めて最良の結果を齎すには米國大學にては日本に於て絶對に見る事能はざる上級編入を許すのみならず、在學生(Undergraduate Student)に成規の課程以外に選科 Elective course を取る事を許し、各學生の趣味、能力に應じ、一定科目の特殊研究を爲さしむる由間及び居り候を以て、若し果して此の如くにして此の特典を

小生にも與へ呉るゝならば、初め一定期間を大學に入りて學生々活に送り、かくて一面米國醫學教育の如何なるものなるかを實驗すると同時に、他面此の間に於てこれ迄自己の專攻せる専門學科の研究を爲すに如何にすべきが最善の道なりやとの方針を定め卒業後これに入る事の却つて眞の良果を收め得べきを信じ、大體此の後の方針を取らん事を豫定致居候ひき。

第二の目的に向つては米國に於ける規定を知らざるべからず候。西部米國地方に於ては我醫專出身者にて開業權を得られたるもの稀ならざる様承知致居候も、米國にては各地に於て規定を異にするとの事なれば、東部米國地方に於て、果して西部米國地方と同一なりや否や疑ひなき能はず候。當東部地方に一知人を有せざりし小生は不幸にして日本出發前、這般の消息を明にする事能はず候ひき。唯、先に同窓先輩、伊澤、小池、上村諸兄のシヤトル市（ワシントン州）に於て開業權を得られたる又近くは同級親友天川君の米領比律賓に於て開業權を得し等の例に鑑み其の州の試験さへ受くれば、其の權利を得らるゝものなれば試験に合格し得る様準備を爲せばよき譯にて別に問題は無之と存じ多少此の間に處する爲め日本出發前密かに用意だけはして參り候。

小生の目的希望斯の如くに候間、小生は先づ差當り次の事を知り然る後最後の方針を決定せざるべからず候。

一、大學に入るには如何にすべきや。

二、開業權を得るには如何にすべきや。

以下秃筆を呵し結論に到達する迄の經過と、此の間に於て得たる材料とを展覽に供し御參考の一資ともならば望外の幸福に候。

小生は先づ順序として先きに米國醫學教育の如何なるものなるかを、紐育州を例として御紹介申上度と存候。

抑も米國に於ける醫學校は西曆一七六五年ドクトルモルガン氏 Dr. John Morgan により設立せられたる費府醫學校（「ペンシルベニヤ」醫科大學の初め）を濫觴とし、一七六七年紐育市「コロムビヤ」醫科大學、一七八二年ボストン

市「ハーバート」醫科大學の創設を見、次いで一八一三年「エール」大學（Connecticut 州 New Heaven に在り、田中教授の居られし處と覺え候）及「シンシナチ」大學時を同して起り、一八六五年、南北戦争の頃醫學校の數頃に激増し、一九〇六年の統計に依れば其の數實に百六十二箇に及び世界に於ける醫學校全數の半に達し居り候。乍然、過去に於ける米國の醫學校の多くは營利主義にして、入學資格及卒業に關する規定極めて亂雜にして統一なく従つて種々の弊害を醸し申候。

カーネギー氏此の弊を慨嘆し私財を提供するに及び一八四六年米國醫學協會 American Medical Association なるもの組織せられ醫學教育委員 Council on Medical Education を命じ十條の規定を設けて全米の醫學校の程度を精査し、其の組織、設備の不完全なる醫學校卒業者には多くの場合開業權を與へざる事となすに至り、初めて諸種の弊害を打破し、米國醫學教育上新紀元を開くに至り申候。而して今日にては各醫科大學共、同協會を通じての官廳の監督厳しき爲め競ふて設備を完全にし、教育程度を向上せしむる事に甚大の努力を致居候、故に醫界の現狀日々に益々隆運に向ひ居り候。事實今回紐育市を今後の世界醫學の中心地となさんとの計畫當市醫界有力者間に唱道せられ案成りて、既に目下着々大規模の資金募集せられつゝあれば、其の實現も遠からざるべく、豊富なる財力と、無限的研究的材料とを有する點に於て、世界獨歩の地に立てる當市の將來こそ眞に刮目して見るべきもの可有之と存候。

扱て紐育州にては州學務省 The State Department of Education なるもの有之、總ての醫學教育に關する統轄權を有し居り、學校側に於ては州規定に従ひ學生に教育を授くるのみにて、例へば一學生（醫學生を指す）の入退學にては此の州學務省の承諾許可を受けざるべからざる事となり居り、又醫學生の試験成績等も總て該省に廻り此處に記録さるゝ事と相成居り候。

千九百十八年正月一日以降紐育州にては醫學教育の階梯を次の如く定め居り候。

- (一) 八年の小學校 Elementary School.
- (二) 四年の中學校 High School.
- (三) 二年の高等學校 College.
- (四) 四年の醫學校 Medical School.

(一)、(二)、(三)を豫備教育 Preliminary Education or Premedical Education 又は(三)及び(二)簡年の「カレッジ」を指す様解釋致る候。又(四)を職業教育 Professional Education 又は High School, College 及醫學校共々其の最低標準 Minimum Standard を左の如く規定致居候。(小學校の分は省略致候)。各々之に應ずるものは(一)より(二)迄、(二)より(三)迄、(三)より(四)に入る資格を興へられざる事と相成居り候。
High School の最低標準。

(1) HIGH SCHOOL (MINIMUM STANDARD).

Subjects.	Periods.	Subjects.	Periods.	Subjects.	Periods.	Subjects.	Periods.
First year;							
English	152	English	114	English	114	English	114
Algebra	190	Geometry pl.	190	Physics	190	American hist. & civics.	190
Biology	190	Latin	190	Latin	190	Chemistry	190
Latin	190	Physical geog. or 2d.	190	2d foreign lang.	190	Latin	190
Drawing	76	foreign lang.	190	History of Great Britain & Ireland	114	2d foreign longpage	190
Manual training	38	Ancient history	114	Economics	76	Drawing	38
Vocal music	38	Drawing	76	Manual training	38	Manual training	38
		Manual training	38	Vocal music	38	Vocal music	38
		Vocal music	38				
Second year;							
Third year;							
Fourth year;							

(註) Period. を此一回の授業時間(五十分)を申候。

College の最低標準。

文科二年ノ College 教育ト同等若クハヨリ以上ノ教育ヲ受ケタル者ニシテ、而モ此間少クモ各學年十五週以上ノ授業ヲナシ化學(3)、物理(3)、生物學(3)、英語(3)、近代語(3)、佛、獨、伊、西ノ何レカ)ヲ含マザルニカラズ。若シ High School 教育ニ於テ上記ノ科目ノ何レカ不足ナル時ハ此ノ不足ヲ少クモ College ノ四年時間 4 year hours (8 semester hours) ニヨリ補習スル事ヲ得。

(註) 右の各科目名の下の括弧内の數字は「ユニット」(Unit)を示シ「ユニット」は五「カウント」(Count)に相當シ「カムツチ」に於ける學科の單位を示す。(之は小生にもよく解リ不申。學校の先生に聞くも明答を得不得。) Semester hour とは一週一時間の講義又は復論。若くは一週二時間の實習を少くも十六週間續くる事を云ふ。米國については一年三十二週の授業を致し候。

醫學校の最低標準。

MEDICAL SCHOOL (MINIMUM STANDARD).

First year;		Hours yearly.	
	Hours (Laboratory)	Hours (Lecture)	
Gross anatomy	240	330	
Histology	90	120	
Embriology	45	60	
Physiology	60	90	
Organic chemistry	60	90	
Physiologic chemistry	90	90	
Bacteriology	60	70	
Second year;			
Gross anatomy	90	150	
Physiology	90	120	
Physiologic chemistry	45	60	
Hours yearly.			
Bacteriology	30	45	
Pathology	180	210	
Surgery		90	
Pharmacology		90	
Internal medicine		55	
Physical diagnosis		30	
Third year;			
Pathology	45	65	
Surgery		180	
Pharmacology & Therapeutics		120	
Internal medicine		270	

Obstetrics	90	Internal medicine	360
Gynecology	30	Osstetrics	40
Hygiene	60	Gynecology	30
Eye, Ear, Nose, Throat, Dermatology	40	Eye, Ear, Nose, Throat, Dermatology	120
Fourth year;		History of medicine	30
Bacteriology	15	The ethics of the medical practitioner	30
Surgery	240	Medical jurisprudence	30
Dietetics	15	Medical economics	30

(註) 平均各學年全授業時間八五〇と定め候。

尙ほ「第三又は第四年級何れかに於て産科の六例を経験せざるべからず。」と云ふ事が右の標準中に入る事と相成居候。

以上のは、又開業試験を受くる事を許さるる最少限の條件に候。

規定の豫備教育を受けたる者又は之れに相當以上の學歴を有するものは州學務省より醫學生免狀 Medical Student Certificate を貰ひ受け初めて醫學校に入る事を得るために相成居り候。換言せば此の醫學生免狀を所持し居らざれば、何れの醫學校にても相手にせざる譯に候。醫學生免狀とは紐育州法令に「The medical student certificate is the official evidence of the fulfilment of the preliminary requirement.」規定ノ豫備教育ヲ果シタリトノ公認免狀ナリ」と定義致しあり候。

總て米國にては學歴の標準を習ひたる時間數の多少にて測定する事と爲し居り、例之甲は解剖學を十五時間習ひたりと云ひ、乙は二十時間習ひたりと云はゞ、乙は甲よりも學力あるものと明確に斷定さるる譯に候。小生等日本人より考ふれば一見奇妙に感せられ候。日本にては一程度の學問を少數時間にて修得し得たる者は、多數時間にて修得し得たる者よりも學力あり腦力あるものと見做し學校に通ひたる時間の多少よりは修得し得たる學問の量の多少にて判斷致候。之と申すも日本にては學生が宅に歸りて勉強し多く自力により會得する時間を、米國にては教師

と共に費し、教師と共に勉強する様致候爲め時間により比較的正確に學力を定め易き爲めかと思考仕候。
右は主として紐育州學務省にて規定したる最低標準に候へ共之に適合致せば全米到る處に通用出来る譯に候。州
法により醫學校入學資格として四年の High School の上に更に二箇年の College 教育を要求致し候もの目下三十州
有之候。即ち左の如くに候。

Alabama, Alaska, Arizona, Arkansas, Colorado, Florida, Indiana, Iowa, Kansas, Louisiana, Maryland,
Michigan, Mississippi, Minnesota, Montana, New Hampshire, New Jersey, New Mexico, New York,
North Carolina, North Dakota, Oklahoma, Rhode Island, South Carolina, South Dakota, Tennessee,
Vermont, Virginia, Washington, Wisconsin.

尙ほ目下 College 教育一箇年を要求致候州は左の八州に候。

California, Connecticut, Illinois, Kentucky, Pennsylvania, Texas, Utah, West Virginia.

翻つて我國醫學専門學校級の醫學教育について考ふるに(一)六年の小學校。(二)五年の中學校。(三)四年の醫學校と相
成り其の Professional Education は日米各四年にして同一なりとするも其の豫備教育に至りては米國の十四年を費す
に比し我國の十一年は餘りに遜色ある外觀を呈し申候。

更に深く兩者の豫備教育の内容を比較致せば最も Professional Education に密接の關係ある物理、化學、動植物、
外國語等の主要科目は我國のそれに比し(殊に實習的方面は)遙かに優秀なるもの有之候様存せられ候。

大學(醫科)の規定。

前文申上候處は州學務省の定めたる最低標準に候へ共各優秀の醫科大學に於ては争ふて遙かにより高き標準を定
め居り候。州規定の標準には達するも學校規定の標準に達せざれば學校は入學を拒絶する譯に候。規定は各醫學校
により差異有之候も(小生は可成多數の學校について調査致候)大體に於て著差無之小生は茲に紐育州に於て最も有

名なる「コロムビヤ」醫科大學の規定を左に摘記する事と致候。

一、 入學資格。

「コロムビヤ」醫科大學ノ最低入學資格 Minimum requirement for admission ハ二箇年ノ「カレッヂ」ノ課程ヲ修了シタル者ニ限リ而モ此ノ間ニ於テ、次ノ科目ハ必ず修了シ居ラザルベカラズ。

物理學(一般物理學)	一週、講義三時間、實習二時間、一箇年間。	動物學(生物學初步及動物學)	一週、講義二時間、實習四時間、一箇年間。
化學(一般無機化學)	一週、講義三時間、實習六時間、一箇年間。	英語「カレッヂ」程度ノ英語	二箇年間。
化學(定性分析法)	一週、講義二時間、實習六時間、一箇年半。	近代語(佛蘭西語又ハ獨逸語)	二箇年間。
化學(有機化學)	一週、講義三時間、實習六時間、一箇年半。		

然レドモ右ハ入學最低資格ヲ定ムルモノナレバ、可及的ニ二箇年ノ「カレッヂ」ニ代ユル二三箇年ノ「カレッヂ」ヲ修了シ左表ノ如ク物理、化學、生物學等ノ基礎的科學ヲヨリ完全ニ修得セルモノタル事ヲ本校ハ切ニ要望セントス。即チ

數學(代數)	一週、三時間、一箇年半。	化學(一般無機學)	一週、講義三時間、實習六時間、一箇年間。
數學(分析幾何)	一週、三時間、一箇年半。	同(定性分析法)	一週、講義二時間、實習六時間、一箇年半。
數學(微分學、積分學)	一週、三時間、一箇年間。	同(定量分析法)	一週、講義一時間、實習六時間、一箇年半。
物理學(力學及被動學)	一週、講義三時間、復誦一時間、一箇年半。	同(有機化學)	一週、講義三時間、實習六時間、一箇年。
物理學(熱及光線)	同上	同(物理化學)	一週、講義三時間、一箇年半。
物理學(電氣學)	同上	動物學(生物學及動物學初步)	一週、講義二時間、實習四時間、一箇年。
物理學(物理實驗室)	一週、四時間、一箇年間。	同(一般動物學)	一週、講義二時間、實習六時間、一箇年。

二、 上級編入ニ關スル規定。

學生ノ上級編入 Admission to advanced standing ハ試験ノ上許スニ非ズシテ以前ノ學校ノ「レコード」ニヨリ満足ト認メタルモノ、ミニ許ス。即チ本校ト同一又ハヨリ以上ノ授業(左表參照)ヲナス一流ノ醫學校(「Class A」Medical School)ヨリノ無條件學生(Student without conditions ト云ヒ、例之以前ノ學校ノ學期試験ニ一科目落第點ヲ有スル

如キハ無條件ト云フベカラズハ其ノ學校ヨリノ適當ナル證明書ト州學務省(紐育ヲ指ス)ノ醫學生免狀トヲ入學委員 Committee on Admissions ニ提出スレバ審査ノ上相當年級ニ編入スベシ。願書ハ七月一日以前ニ於テ可及的早ク提出スベシ。

「コロムビア」醫科大學授業表

第一學年

- 解剖(組織學及胎生學) 講, D, 六。 實, 六。
- 同(四肢及內臟) 講, D, 一。 實, 一〇。
- 生理學 講, D, 六。 實, 四。
- 醫化學 講, D, 二。 實, 六。

第二學年

- 解剖(頭、腹、胸部) 講, D, 冬三。 實, 冬九。
- 同(脊椎形態) 講, D, 冬三。 實, 冬四。
- 細菌(一般細菌學) 講, D, 冬二。 實, 冬四。
- 同(傳染、免疫等) 講, D, 冬二。 實, 冬四。
- 產科(復讞) 講, D, 春二。 實, 春一〇。
- 病理(總論、各論) 講, D, 春一、五。 實, 春一〇。
- 同(解剖) 講, D, 春四。 實, 春四。
- 藥物(實驗的) 講, D, 冬一、春三。 實, 春四。
- 生理 講, D, 冬五。 實, 冬四。
- 內科(理學的診斷學) 講, D, 春一、五。 實, 春四。
- 同(理學的檢査法) 講, D, 春二。 實, 春四。
- 同(臨牀病理學) 講, D, 冬一、五、春四。 實, 冬二。
- 外科(外科的病理學) 講, D, 冬一。 實, 冬二。
- 神經(神經解剖) 講, D, 冬一。 實, 冬二。

第三學年

- 皮敝科 講, C, 冬一。 實, 春一〇。
- 小兒科(復讞) 講, C, 冬一。 實, 春六。
- 同 講, C, 冬一、春一。 實, 春六。
- 婦人科 講, C, 冬一、春二。 實, 冬、春一〇。
- 耳咽喉科 講, C, 冬、春一。 實, 冬、春一〇。
- 神經科 講, C, 冬二、春四。 實, 冬、春一〇。
- 產科 講, C, 冬、三。 實, 冬一〇。
- 眼科 講, C, 春一。 實, 冬一〇。
- 整形外科 講, C, 春一。 實, 冬一〇。
- 內科 講, C, 冬六、春八。 實, 冬四、春二。
- 外科 講, C, 冬、春七。 實, 冬四。
- 泌尿器科 講, C, 春一。 實, 冬一〇。
- 第四學年 實, 三(二箇月間)
- 小兒科 實, 一(一箇月間)
- 婦人科 實, 一(一箇月間)
- 衛生學防疫學 講, C, 二(四箇月間)
- 神經科 講, C, 三。
- 產科 二—三週間病院ニ當直ス。
- 內科及應用治療學 講, 三。
- 外科 實, 四(二箇月間)
- 實, 一(一箇月間)
- 實, 二(二箇月間)

(註) 數字ハ一週間ノ總時間數ヲ示シ、講ハ講義。Dハ「デモン」

トラチオン」。C「ハ」グリニツク」。實ハ實習ノ略。又數字ノ上ノ
 春、冬ハ春學期、冬學期ヲ表ハス。

細菌學、醫化學、臨牀病理學、神經病學及神經解剖、物理、化學、生

理學、動物學、精神病學等ノ科目ハ入學前「コロムビヤ」大學夏期講習ニ
 於テ其ノ不足ヲ補フコトヲ得。

三、選科ニ關スル規定。

學生ハ成規ノ課程以外ニ特種科目ノ研究ヲ繼續シ又ハ補習スル爲メ選科 Elective course ヲ取ルコトヲ得。此ノ選科ヲ取ラントスル學生ハ冬季又ハ春季學期ノ初メニ於テ登録シ、規則正シク出席スル責任アルノミナラズ、試験ヲ満足ニ通過セザルベカラズ。

第四年級學生ニシテ特種ノ能力アルモノハ分科長ノ指名ニ依リ行政委員 Committee of Administration ノ裁可ヲ受ケ成規ノ課程ノ代リニ當該選科々目ノ專攻、研索ヲ爲スコトヲ得。

開業免狀ニ關スル規定。

紐育州法令によれば次の如く規定致居候。要點のみ譯載致候。

紐育州内ニ於ケル開業權ハ次ノ三方法ニヨリ許可ス。

一、試験ノ上免許ス License on Examination.

即チ開業試験ヲ受クル資格アル者ニシテ試験ヲ満足ニ通過セルモノニハ免許ス。

資格トハ年齢二十一歳以上ニシテ、品行方正、加フルニ豫備教育、職業教育共ニ (preliminary and professional requirements) 州規定ノ標準 (前文參照) ト同等若クハヨリ以上ノモノヲ云フ。英語ヲ國語トセザル外國ヨリノ證明書ニ對シテ醫學學生免狀 Medical Student Certificate ヲ得ントスル志願者ハ英語ノ特別試験ヲ通過セザルベカラズ。(前文及後文參照)。

開業試験 Licensing Examination。受験料ハ二十五弗トス。試験ハ州學務省ニ依リテ執行セラレ答案ハ英文ニテ

認め、ザル、ベカラズ。採點ハ試験委員ヲ選ビテ行ハシム。受験者ノ姓名ハ答案ニ記入スルヲ許サズ。單ニ自己ノ受験番號ノミヲ記入スベシ。

試験問題。(一)解剖、(二)生理、(三)化學、(四)衛生 (Hygiene and Sainitation)、(五)外科、(六)産婦人科、(七)病理及細菌、(八)診斷學ニ互ル。

各科目七十五點ヲ以テ最低及第點トス。

二、裏書ニヨリ免許ス License by Indorsement.

紐育州ト同等若クハヨリ以上ノ標準ヲ維持セル他州ニ於テ受験ノ上得タル免狀ニ對シテハ本州ニ於テ裏書ニヨリ免許ス。(即チ開業權ヲ州ヨリ州ヘ移シテ吳レルナリ)。

志願者ハ二十五弗ノ手數ヲ支拂ハザルベカラズ。

下記ノ州ニ於テ各記入ノ年月日以後ニ得タル免狀ニ對シテハ本州ハ裏書ヲ承認ス。

Delaware June 17, 1909

Utah October 28, 1909

Indiana October 28, 1909

Virginia June 25, 1914

New Jersey August 29, 1912

Wisconsin October 28, 1909

Ohio October 17, 1907

三、協賛ノ上免許ス License on Approval.

教育委員 The Commissioner of Education ハ「リージェンツ」Regents (日本ニテ曰ハハ檢定試験官)ノ協賛ヲ經テ他州ヨリノ醫師ノ免許證乃至得業證書 (Diploma or License)ヲ裏書スルコトヲ得。但シ此ノ場合志願者ハ(一)豫備教育、職業教育共ニ總テ本州規定ノ開業受験資格ヲ有スルカ、(二)十年間令名アル開業 reputable practiceヲナセシカ、(三)或ハ其ノ職ニ秀逸ナル大家ト認めラル、地位ニ達セル者ナラザルベカラズ。

前述の如く米國にては獨り専門教育に意を注ぎ候のみならず最も力を其の豫備教育に入れ總て専門教育の履歴丈
 けは如何に十分なるも其の豫備教育にして規定の標準に達し居らざるものは醫師としての資格を認めざる事と相成
 居り候。

以上申述候事項を考案致候時は小生の豫め描いて參り候復案もどうやら實現され得る可能性多き様存せられ、而
 も大學に入る事と開業權を得る事は同時に其の道を明にする事を得る譯と相成候。即ち小生の學歴レコードを州學務省乃至
 大學側が如何なる程度のものゝ認め評價し呉るゝが問題に候。同等若くはより以上と認め呉るれば問題は更に無之
 先づ大學に籍を置き豫定の學修をなすつゝ便宜何時にても開業試験を受け資格を得る事となす事を得て總ての希望
 目的は極めて圓滑に遂行せしむる事を得べく候。

然れども米國醫學教育の標準を知り退いて我學歴を回顧する時は醫專出身者たる小生の「レコード」が無事に通過
 し得るや否や其の成否餘程困難の様察せられ、直譯的に規則書面に表はれたる我中學校五箇年並に醫專四箇年の授
 業時間表を移して以て我學歴なりと云はゞ、單に個人の「レコード」を主として學科目及其の授業時間數のみを以て
 判斷せんとする彼等米國人を満足せしめ能はざるや想像に難からず候。下手に參れば米國の College Course を取り
 夫れを終了し得たる上相談に應せんなど來る間隙を認め得らるゝの恐有之候。此の如きは到底小生の忍びざるこ
 ころ諸賢亦御同感と存候。茲に於てか敵狀を知りて之に策應するは獨り兵家の事のみならずと存候。非乎。小生
 は徐ろに詳細に日米兩者を比較し我の優れりとする所は優れりと爲し、我の劣れる所は多少の修飾を施し以て可及
 的我が弱點をして露骨に曝表せしめざるは敢て陋なりと爲すべからざるものありと存候。小生は日米兩者を比較す
 る時に於て左の如き弱點ある事を指摘し得べく。

一、小學校六年にて中學校に入り得る爲め此所に米國に比し二箇年の差あり。

二、假りに一步を譲り中學校五年を米國 High School 四年、College 一年に相當することとして尙ほ此所は College

一年丈けの差あり。

三、兩者授業科目の内容に立入り比較する時は物理、化學、動物の三科目に於て大なる逕庭あり。殊に其の實習的方面に於て遜色著しきを認む。

而も實際に我國の教育狀態を稽ふる時は強ち右を直ちに弱點と爲すべからざるものあり、何となれば我國に於ては小學校以後の學校教育は規定量の學科を注入供給するに止まり、之を消化し、吸收すると否とは、専ら各學生の力に依る事となし、加之、小學校より中學校に、中學校より専門學校に進む階段に於て極めて嚴格にして激烈なる競争入學試験を課し、以て學生を選択淘汰するを以て、事實小生等は略は米國學生と對向し得ると自負し得るが故に此等の情狀を斟酌し可及的米國當局者を満足せしめ得る様米國規定の標準に接近し得る様學校の許し得る最大限度に於て手加減して小生の學歴證明書作製下附せられ度き旨狀を具して母校當局に申請に及び、かくて小生は其の證明書を接手したる上、之を提げて各方面に交渉し漸次豫定の目的に前途を開拓せんと致候。而して常に小生の念頭を去らざるものは小生の責任に候。之より小生は先人未踏の道を進まんとする者に候へばベストを盡して及ぶ限りベストの先例を作らざるべからざる事を痛切に自覺致居候。

母校中學校並醫專より學歴證明書を接手致候は六月末日に候。直ちに英譯し領事館の奧書を貰ひ、之に履歷書を添へて、此處に書類は揃ひ申候。小生は之を提げて Philadelphia 市の「ペンシルベニヤ」醫科大學並紐育州學務省に至り申候。小生は交渉を開始するに當り、先づ自己渡米の目的、豫定を略述し、次に我國の醫學教育の實狀を詳説し、携へ來りし證明書を提出し、希くば之を精査し、且之に忌憚なき評價を下し然る後小生の前途の方針につき最善の指教を垂れ給はゞ、獨り小生の幸福のみならず、故國に於ける多數の我親愛なる同學同好の士の爲め道を示し彼等を益する事大なるべきを以て致候。

氣遣はれし交渉の結果も案外上首尾に參り、紐育州學務省にては左の意味の如き極めて丁寧なる覺書を交附し吳

64

れ申候。米國の役所が如何に「デモクラテック」にして、辭令に巧なるかは之にても知る事を得べくと存候。

拜啓

本日御出頭御提出相成候貴下の學歴證明書審査致候結果、本州規定の外國人英語試験さへ御通過被下候時は、醫科大學第四年級に御入學の御資格十分と相認め申候。而して一箇年間何れかの本州認定の醫科大學にて御勉學相成首尾よく M. D. (Doctor of Medicine) の學位を得て御卒業爲被成候上は本州規定の醫師開業試験御受け被下度此段申添へ置候。

最初少くも一箇年間醫科大學にて學生として一般醫學に御勉學致され候後、貴下の御專攻相成居候専門分科の御研究に進まれ候事は貴下を益する事最も大なるべく、斯くて御歸國の上、眞の泰西醫學を東洋に傳へられん事は吾人の熱望して止まざるところに候。

前記英語試験の「プログラム」に關しては直接御手渡し致候第二三號手冊にて委細御承知被下度、貴下の御成功を祈り申候。

該試験御通過の上は此の覺書に代ゆるに正式の醫學生資格證明書 (Medical student qualifying certificate) を差上げ可申、尙ほ今日御提出相成候學歴證明書は確と御預り可致置候。但し何時にても御入用の節は御一報下され候はゞ早速御送附可申上候。頓首。

紐育州學務省專門教育部長

千九百十九年七月二日

オーガスタス、エス、ダウニング。

木畑辰夫殿

以上の如く唯英語の試験一科目のみて上級編入而も第四年級に編入し異なるなど申す事は紐育にては記録破りとして過言にあらざる由當地教育界の事情に通せる在紐一知人は申居候。即ち當局者側は非常に好意ある評價を

なし呉れたる譯に候。之と申すも偏に母校々長始め當市高見ドクトル其他の御厚情と州學務省のドクトルテラー氏 (Dr. H. L. Taylor) の同情ある斡旋の賜と記して以て茲に謝意を表し申候。

外國人英語試験 English Examination for foreigner. 又申すは Handbook No. 23 によれば醫師、藥劑士、辯護士、齒科醫、獸醫等の志願者に課せらるる州規定の Professional academic examinations の内の一科目にして前文にて英語特別試験として申上げたる規則を適用せるものに候。英文法、作文、書取、修辭法等に互り米國 High School 二年級程度の試験の由に候。幼少の頃より英國人につき特別に英語の修業致したる小生は英語に對しては多少の自信を有し居り候も何分途中久しく獨逸語に入りたると英語も主に醫書に偏したる爲め、文法だの、修辭法だのと申せば聊か不安の箇所も無きにしもあらず候へ共、意地にも好成绩にて通過致し度き覺悟にて目下勉學能任候。試験は九月八日午後一時十五分より候。此の試験通過致候上は當市「コロンビア」醫科大學に入り可申、既に此の方も先日校長に面談確と豫約致して參り候。

開業試験に關しては普通前掲の州法通り行はば君の英語の試験さへ通過すれば小生に受験資格を與ふべき筈の様
に解され候が之に關しては如何なる法規を適用せまにや詳細調査致し不居候がドクトルテラーの話にては紐育州にては大學卒業業者 (即ち M. D. 肩書ある者) ならざれば開業を許さざる事に相成居由に候。

「ペンシルベニヤ」大學は入學許否の返事を九月末に通知し來る筈に候へ共此の方は紐育さへ成功致せば自然斷る積りに候。

紐育州學務省は紐育市東の北支百四餘哩バドソン河畔のアルバニイ市に有之、東行約四時間にて達すべく、小生は歸途舟路を選び歴史的、詩的情緒に富めるバドソン河沿岸の絶景をあがす賞翫致候。

小生滯米半歳、此の間、最も痛切に感じ候は語學の必要に候。一步外國に踏み出し候ては語學に勝る武器は無之候。總ての原動力は語學に候。小生渡米前日本にてよく耳に致候は米國に行けば英語などは直ちに上手になれる故

日本で勉強して行くよりは行つて勉強した方がよいと申す事に候。一面の眞理は有之候も而も此の如き觀念は日本人をして世界に最も語學の下手な國民たらしむる一大原因と愚考仕候。小學校教育を受けに来らんとする特志家は例外として、苟も高等教育を受けんとして來り或は視察に來り又は一事業をなさんとして來る程度の人にして右の如き觀念の下に何等の語學の素養、準備なくして渡航せらるゝは泥棒が來て繩をなふに等しく、誠に至愚の人と可申と存候。讀書、作文等の基礎的語學は日本にても却つてより便利に、より正確に學ぶ事を得べくと信じ候。小生は日本にて相當の教育を受けたる後、渡航せんとするが如き人は必ず、渡航前以上の如き少く基礎的語學を十分練りたる上、出發せられん事を切に忠告せんとするものに候。斯の如き準備ありて渡航せらるれば縦横に練習し得る本舞臺に入り會話の如き實用語學の修得極めて迅速にして従つて海外に於ける貴重の時間と、多額の費用とを有利に節約し主要の目的に精力を集注、活用する事を得て眞の美果を收め得べくと存候。小生は將來海外に發展し、世界の活舞臺に活躍せられんとする多望の前途を有せらるゝ多數の我青年醫家諸君に向ひ語學の修得に十二分の努力を致されん事を慫慂して止まざるものに候。忌々しき日米問題の如きも日本人の英語の力の不十分なるが最大原因かと存候。何となれば言葉は感情の融和を來さしむる主要素に候へばなり。

目下受験期も切迫致し居り多忙の折柄之にて擱筆致候。

乍末筆謹んで遙かに諸賢の御清福を奉祈候。草々頓首。(七月二十五日認)

Dr. T. Kibata.

176 Washington Park,

Brooklyn, New York.

U. S. A.